



- 1 対象となる幼児児童生徒
Ⅱ課程の生徒（軽度）
- 2 教材を使用する活動
自立活動、学級活動等
- 3 ねらい

活用する授業は主に自立活動で、ピースを掴んではめ込む手指訓練、形を整える感覚を養う事が期待される。いろいろな図形を準備することで興味も継続し、集中して取り組むことで力をつけると考える。また遊び的要素もあるので学級活動で組み立てのスピード競争などに取り入れたらより生徒も積極的に参加できると思う。

教材の使い方	配慮点
<p>○組み木パズルを組み立てる。</p> <p>・いくつかの図柄の組み木に取り組ませることができる。</p>  <p>・いくつかの図柄の種類から好きな組み木パズルを選ぶことができる。</p> 	<p>○生徒の実態に応じたピースを提示する。</p> <p>○全部のはめ込みが難しい場合、いくつかのピースをあらかじめはめ込み、途中から取り組ませる。</p> <p>○完成できたら、定着出来るように何回か飽きない程度に取り組ませる。</p> <p>○定着出来たら難易度を上げて、ピースの数を増やしたり、複雑な形のパズルに取り組ませる。</p>